

教材紹介カード		教科等	国語・算数
教材名	いろいろなかたちで バスを作ろう	部門	知的障害教育部門
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸・三角・四角の形を大きさや長さを問わず分類する。</li> <li>パワーポイントのアニメーション使用し、画面をなぞるなどの活動を行うことで図形を描く。</li> </ul>		
写真			
指導内容 ・ 指導方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>形の学習において、丸・三角・四角を分類することができるよう、①手で形を表現する、②形を指でなぞる、③指定した形の具体物を移動する、という流れで授業を展開していく。</li> <li>③は「バスをつくろう!」という目標のもと、始めに見本を提示する。</li> <li>バスについているタイヤや窓を他の形も混ざった別のホワイトボードに張り付ける。画用紙だけになったバスをクラスみんなで1から完成することを目標に活動を行っていく。</li> </ul>		
特徴 ・ 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の具体物を移動する活動の際、児童の実態に合わせて2択から10以上の選択肢を用意した。</li> <li>型はめや赤い丸でより分かりやすいような支援教材を用意することで実態に合わせた授業を展開することができた。</li> <li>児童自身が移動させた具体物が丸・三角・四角のどの形であるか言葉で答えられるよう、手で形を作る活動・指で形をなぞる活動で、名称の復唱を行う。そして、「バスをつくろう!」の活動の際、移動させた形が何であるか質問を行う。</li> </ul>		
材料・製作上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の具体物は、のり付きパネルを使用し児童が持ちやすいよう工夫した。</li> <li>バスの色は、授業期間で2回変更し、色の学習も兼ねられるようにした。</li> <li>ホワイトボードを土台とすることで、持ち運びが可能になるかつ、バス完成後にバスを発車させる演出を行うことができる。</li> </ul>		
製作年月	令和 6 年 6 月	作成者	松林 明凜